

“ゼミの武蔵”ならではの少人数制プログラム！卒業生による実践的なキャリアサポート 2/17(土)「武蔵しごと塾 ～内定力強化講座～」を開催

武蔵大学（東京都練馬区／学長 山崎哲哉）は、本学の3年生を対象とした実践的な就職支援プログラム「武蔵しごと塾」の第2弾を2月17日（土）に開催します。第2弾では、学生が社会人像をイメージしやすい若手の卒業生を招いて行った第1弾の「課題発見とネクストアクション」（11月実施）で学んだ基本を踏まえ、模擬面接などを通じてより実践的な個々の内定力を高める応用編のプログラムとなっています。

「武蔵しごと塾 2月講座：～内定力強化講座～」 (Phase 2)

日時：2018年2月17日（土） 13:00～19:00

場所：武蔵大学 1号館 1001教室 他

内容

13:00～ インストラクション・卒業生による講演（1001教室）

13:40～ 模擬面接・フィードバック等

- ・模擬面接を通して採用担当者の視点を理解し、就職活動に生かす。
- ・1教室に学生5～6名、卒業生1～2名。
- ・内定を獲得した4年生が「就活サポーター」として各教室をサポート。

17:30～ 卒業生との交流会（学生ホール）

- ・卒業生との交流を通して、志望業界や職種の知識を深める。
- ・参加予定卒業生の企業業種：情報・通信、印刷、広告、銀行、信金、生保、リース、インフラ、食品、金物、医療、不動産、建設、商社、旅行、人材、コンサル など



「武蔵しごと塾」とは？

社会で活躍する卒業生を面接官とした“本番さながらの模擬面接”などを通じて、就職活動に向けた実践的な力を身につけることを目的とします。学生・卒業生延べ約400名が参加するイベントになっています。

Phase 1：11月講座「課題発見とネクストアクション」

卒業生も含めたゼミ形式でのディスカッションや模擬面接などを通して自分の弱点を知り、克服するための方法を考えます。

Phase 2：2月講座「内定力強化講座（面接体験講座）」

卒業生による本番さながらの面接指導や、エントリーシートの書き方指導を実施。徹底した個人指導で、学生の問題点を見出し、その場で改善につなげることで、就職活動における自己表現力を伸ばします。

参加者の声（昨年度アンケートより抜粋）

- 卒業生のフィードバックが的確で、自分では気づけない自分の強み・弱みを知ることが出来た。
- 他の就活生の面接を見て、参考にしたい点・注意したい点など多くの気づきがあった。
- 面接は予想以上に緊張することが分かった。本番前に体験出来て良かった。
- 企業の人事経験のある卒業生の方の話を聞くことができ、非常に参考になった。
- 一般的な面接の作法だけでなく、仕事の内容や業界によって異なる特徴も教えてもらった。

■武蔵大学〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕 ～都心に近く 緑豊かなワンキャンパス～

武蔵大学の前身は、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立旧制七年制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。武蔵大学は、経済、人文、社会の3学部8学科からなる文系総合大学。一年次から4年間のゼミナールが必修で「ゼミの武蔵」といわれる。近年ではロンドン大学の学位が取得できるプログラムや国際村の設置などグローバル教育にも力を入れている。

学長 山崎哲哉 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1